

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		回覧板配布事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部
	施策	14	市民参加によるまちづくりの推進		所属課	総務課
	基本事業	41	地域づくり(まちづくり)人材の育成		所属班	総務・男女共同参画班
予算科目	会計一般	2	1	1	11492	法令根拠
	課	2	1	1	11492	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	○行政情報を市民へ周知するための平成22年に作成した回覧板を破損したもの等を入れ替えを区からの要望にしたがって行った。各地区へ配布する事業。現在、広報その他の文書を各地区の囃託員(区長)・連絡員を通じて配布及び回収している。(今後3年に1回の予定で新規事業として計画していく予定であったが在庫があるため、在庫がなくなり次第作成することとする。 ○これまで回覧板については、広告代理店が合志市の地元企業の広告費を製作費として3年に1回の間隔で作成し配布していた。前回は平成19年4月に1、5、2、4部各地区へ配布し、その後各地区から補充の依頼、再配布の依頼があったが希望数の一部を配布したにとどまっている。 ○行政情報を市民へ周知するため、広報その他の文書を各地区の囃託員(区長)・連絡員を通じて配布及び回収していく仕組みは今後も継続して行くことが予想される。回覧板は消耗が激しく、また、住宅開発等で回覧する組・班等が増加している現状から、回覧板の必要数は今後も増加することが予想される。不足等の申し出があった区に配布を行なった。23年度以降は不足分の補充、及び破損・汚損の取替えを囃託員(区長)の申し出に応じて随時行う。 ○平成23年度に泉ヶ丘支所の以前の看板を改修し、設置した。 ○回覧板については随時破損等の分については取替えを行ってきた。 ○平成25年度実施優先度評価会議において、平成26年度からこの事業を10329行政区囃託員配置事業へ統合することとなった。
【業務の流れ】	各区からの要望にしたがい随時取替えを行った。また、消費生活センターの啓発のため電話番号を掲載した。
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	区長や自治会長から、新たな組・班の追加や更新のための回覧板の要望があがっている。クリアケースと回覧板をセットとする案を議員から提案を受けた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	不足、破損等分の補充配布を行った。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 須屋市民センターの移転、改修が終わるので、看板を設置を検討していく。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 枚	予算の主な増減の理由
→ ア: 各地区必要枚数	枚	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	各地区	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 地区
		→ ア: 地区数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	行政情報を各地区の市民に円滑に周知できる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 世帯
		→ ア: 情報が伝わった世帯数
		イ: 情報が伝わった世帯数の割合
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	枚	0	0	0	0				
	イ									
② 対象指標	ア	地区	83	83	83	83				
	イ									
③ 成果指標	ア	世帯	18,251	18,313	21,000	18,704				
	イ	%	87	87	87	0				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	290						
		(A) 事業費計	千円	290	0	0	0			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	7	2	0	2			
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	114	22	0	20				
	(B) 人件費計	千円	460	89	0	79				
トータルコスト(A)+(B)		千円	750	89	0	79				

事務事業名	回覧板配布事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						